

## 勤労青少年ホームについて

### 1 今後のあり方

門司、若松、八幡西勤労青少年ホームは、利用者が新たな活動場所（代替施設）へ円滑に移行できるように、おおむね2年間の移行期間を設けたうえで、平成31年度末を目標に廃止する。

#### 【廃止の理由】

- ・ 平成27年10月の法改正（勤労青少年の福祉の増進を図る目的から、青少年の雇用の促進等を図る目的に改正）により、設置根拠規定が廃止されたこと
- ・ 勤労青少年の利用者が少ないこと
- ・ 利用形態を工夫することにより、近隣の市民センターや体育館など、他の公共施設で利用の振替えが可能であること
- ・ 利用団体を対象とした説明会では、廃止反対の意見が多かったものの、一方で、廃止するのであれば、事前に時期を明確にしてほしいとの意見もあったこと

などから、公共施設マネジメント実行計画の基本方針を踏まえ、総合的に判断した結果、平成31年度末を目標に廃止することとしたもの。

### 2 方針決定に至る背景

#### (1) 勤労青少年ホームを取り巻く環境の変化

- 各政令市における廃止、廃止に向けた検討の状況
- 子どもや若者の相談機関や若者の就業支援機関が整備されたこと
- 青少年の意識・価値観の多様化
- 青少年人口の減少

#### (2) 本市における取組み及び検討状況

- 街路事業（大門木町線の拡幅）に伴い、小倉勤労青少年ホーム（築37年）廃止（平成12年度末）
- 施設の老朽化に伴い、八幡東勤労青少年ホーム（築44年）廃止（平成17年度末）
- 北九州市行財政改革大綱（平成26年2月）などにに基づき、そのあり方や廃止を検討
- 北九州市公共施設マネジメント実行計画（平成28年2月）に基づき、廃止を検討
- 利用団体を対象に、説明会（平成28年10月、平成29年5月）を開催（延べ12回）

### 3 利用者への対応

会議室等や体育室の利用者については、他の公共施設等での利用の振替えができるように、代替施設の情報を提供し、講座の受講生については、代替講座等の情報を提供するなど、引き続き丁寧に新たな活動への円滑な移行を支援する。

また、市民センターや体育館などの公共施設の利用時間区分の見直し、生涯学習センターや勤労婦人センターへの総合利用申請システムのモデル導入などを検討し、利用者の利便性の向上を図る。

### 4 廃止後の資産の活用

- 門司、若松勤労青少年ホームについては、公共施設マネジメント実行計画を踏まえ、建物を解体し、跡地は民間売却を基本として積極的に利活用を図り、まちの活性化や魅力あるまちづくりに取り組む。
- 八幡西勤労青少年ホームについては、平成32年度から八幡西生涯学習総合センター折尾分館として活用する。

※折尾分館として活用するために、八幡西勤労青少年ホームとして管理運営しながら、平成31年度に改修予定

※改修内容は、料理室等を会議室へ転用

その他の改修内容については、引き続き検討

※改修にあたっては、利用者に配慮し、できる限り開館しながら改修する方法を検討

## 北九州市公共施設マネジメント実行計画（平成28年2月策定・抜粋）

## ・市民活動拠点施設のマネジメント計画

市民活動拠点施設については、特定目的について見直しを図り、誰もが利用しやすい施設となるよう調整を進め、出来るだけ早期に地域毎に1箇所を集約していきます。

なお、廃止によって生じた跡地は、民間売却を基本として有効活用を図ります。

## ア 門司地域

## 対象施設

門司生涯学習センター、東部勤労婦人センター（レディスもじ）、門司勤労青少年ホーム

門司区の3施設は、モデルプロジェクトで計画している門司港地域の複合公共施設を地域拠点施設とし、これを中心として機能集約を図ります。

門司勤労青少年ホームは、門司生涯学習センターや門司体育館等に利用を振り替えるなど、今後2年以内を目途に必要な調整を行い、その後廃止を検討します。

門司生涯学習センターは門司港地域の複合公共施設の整備により廃止します。廃止後については、UR都市機構の集合住宅との合築となっていることから、民間売却を含め、生活利便施設の誘致などについて検討していきます。

東部勤労婦人センターは、誰もが利用しやすい施設として見直しを図り、当分の間、存続しますが、その後、大里地域の複合公共施設の整備により体育室などの機能を移転し、集約します。

## エ 若松地域

## 対象施設

若松生涯学習センター、若松勤労青少年ホーム

若松生涯学習センターは、地域拠点施設として位置付け、長寿命化を図り、存続します。

若松勤労青少年ホームは、若松生涯学習センターや若松体育館等に利用を振り替えるなど、今後2年以内を目途に必要な調整を行い、その後廃止を検討します。

## カ 八幡西地域（黒崎地域、折尾地域）

## 対象施設

八幡西生涯学習総合センター、折尾分館、八幡西勤労青少年ホーム

八幡西生涯学習総合センターは、黒崎地域の地域拠点施設として位置づけて、存続します。

八幡西勤労青少年ホームは、今後2年以内を目途に必要な調整を行い、その後廃止を検討します。

なお、八幡西勤労青少年ホームの建物は、折尾地域の地域拠点施設として活用することを検討し、利用調整等を行った上で、折尾地区総合整備事業により移転の対象となっている八幡西生涯学習総合センター折尾分館の機能の集約を図ります。

その後、建物の耐用年限が到来する時期までに、折尾地域の拠点施設のあり方について、検討していきます。

# 勤労青少年ホーム（位置図）



## 勤労青少年ホームの概要

### 1 施設の概要

○設置目的 勤労青少年の福祉に関する事業を総合的に行うことにより、勤労青少年の福祉の増進を図る。

#### ○建物状況

勤労青少年ホーム	門司 (プラザ門司)	若松 (ヤングプラザ)	八幡西 (フレッシュプラザ)
建築年月	昭和50年9月	昭和49年6月	昭和58年6月
築年数	42年	43年	34年
住 所	清滝三丁目2-3	浜町二丁目10-17	南鷹見町6-1
構 造	鉄筋コンクリート 地上2階、地下1階	鉄筋コンクリート 3階	鉄筋コンクリート 2階
延床面積	1,808.99 m <sup>2</sup>	1,147.46 m <sup>2</sup>	1,097.77 m <sup>2</sup>
駐車場台数	20台	23台	21台
主な構成	集会室、和室、音楽室、絵画室、料理室、体育室、 テニスコート（八幡西のみ）など		

○利用時間 10:00～21:00

○休 館 日 日曜日、祝日、年末年始

### 2 施設の現況

#### ○延利用人数

単位：人

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
門 司	22,505	24,425	22,568	23,493	23,654	25,180
若 松	27,890	28,824	29,549	31,228	30,665	30,015
八幡西	42,015	44,270	45,405	49,374	42,469	42,700
合 計	92,410	97,519	97,522	104,095	96,788	97,895
勤労青少年 割合	14.5%	14.1%	14.2%	14.2%	12.2%	7.8%

## 説明会の主な意見について

## 1 概要

## ＜平成28年10月実施＞

	団体数	説明会 参加団体数	アンケート 提出団体数	意見聴取 団体数
門 司	35	16	15	20
若 松	45	23	18	28
八幡西	86	35	46	50
合 計	166	74	79	98

## ＜平成29年5月実施＞

	団体数	説明会 参加団体数	意見聴取 団体数
門 司	35	13	13
若 松	47	20	20
八幡西	98	28	28
合 計	180	61	61

## 2 主な意見

## ＜存続に関する意見＞

- ・ できる限り利用したい。残してほしい。
- ・ 勤労青少年ホームの看板をおろしても、市民のための施設として、利用させてほしい。
- ・ 複合公共施設ができるまで利用させてほしい。
- ・ 鏡張りの部屋があり、利用しやすい。
- ・ 利用料金をあげても、存続してほしい。
- ・ 存続するのか、しないのかはっきりしてほしい。

## ＜廃止に関する意見＞

- ・ 耐震工事に費用がかかるのであれば、存続は難しいのではないかと。
- ・ 八幡西生涯学習総合センター折尾分館の機能が、2年以内（平成29年度末）に集約されるのか。
- ・ 門司港の複合公共施設ができる前に廃止すれば、利用できない空白の期間ができる。
- ・ 急に利用できなくなると慌てるので、廃止の具体的な時期を教えてください。
- ・ 廃止前提で検討しているのではないかと。

- ・ 廃止であれば、時期をはっきりしてもらわないと、動きようがない。せめて1年前には言ってもらいたい。
- ・ 廃止するとしても、1年、2年延ばしてくれれば、調整期間も確保できる。
- ・ 八幡西勤労青少年ホームのどの部屋が残りどの部屋がなくなるのかが重要である。改修時期を明確にしてほしい。
- ・ 廃止となれば、議会に陳情する。市長に申し入れするなど、反対運動が考えられる。
- ・ 勤労青少年ホーム（八幡西）としては廃止となり、形態が変わるので、了承してもらいたいとの説明であれば、納得がいく。
- ・ 市がはっきりしたことを言わないから、うわさが広がる。早く結論をださないといけない。

#### <代替施設に関する意見>

- ・ 他の施設では夜でも利用できるのか、他の施設に空室状況を聞いてもいいのか。
- ・ 現在と同程度の料金で利用できる代替施設があればよい。
- ・ 今までと同じように利用できる代替施設を用意してほしい。代替施設を優先的に利用させてほしい。
- ・ 代替施設の利用となると、費用と距離が問題になるので、やめる人がでるかもしれない。
- ・ 代替施設の具体的な情報を提供してくれるのか。
- ・ 代替施設はすでに利用者があるので、新たに利用することはできないと思う。
- ・ スポーツ開放で学校の体育館を探してもらうことは可能か。
- ・ 廃止が決定していないのならば、代替施設を探す気はない。